夢だっていいじゃない

伊藤貴晴　作

【登場人物】

 少女 アリス

 黒子１ クロ

 黒子２ シロ

 黒子３ アカ

 黒子４ アオ

 黒子５ キー

 黒子６

 黒子７

【１】　夢の始まり

 黒子１、黒子２が紙吹雪を作っている。

黒子１ 桃太郎

黒子２ 浦島太郎

黒子１ 金太郎

黒子２ 力太郎

黒子１ 竜の子太郎

黒子２ 三年寝太郎

黒子１ 三年寝太郎ってちょっとイメージ違うな

黒子２ でも太郎だよ

黒子１ 寝てばっかりの話だろ

黒子２ でも村を救うんだよ

黒子１ へえ

黒子２ こち亀の日暮さんみたいだよね（※１）

黒子１ あっちは四年に一回しか起きないから、あっちの方がすごい

黒子２ そうかな

黒子１ 太郎の話っていろいろあるんだな

黒子２ ゲゲゲの鬼太郎も太郎だよね（※２）

黒子１ それはおとぎ話じゃない

黒子２ じゃあ、とっとこハム太郎は？（※３）

黒子１ お前、マンガとかアニメから離れろ

黒子２ 分かった

黒子１ 他に、おとぎ話の登場人物

黒子２ 動物が出てくる話はいっぱいあるよ

黒子１ そうだな

黒子２ うさぎとかめ

黒子１ 舌切り雀

黒子２ 鶴の恩返し

黒子１ さるかに合戦

黒子２ 花咲じいさん

黒子１ 花咲じいさん？

黒子２ 犬が出てくるよ

黒子１ 出てくるけど、犬は主役じゃないぞ

黒子２ 誰が主役？

黒子１ じいさん

黒子２ じいさんか

黒子１ じいさんが出てくる話も多いな

黒子２ こぶとりじいさん

黒子１ うん

黒子２ こぶとりじいさんって、どんな話だっけ？

黒子１ ちょっと太ったおじいさんの話

黒子２ 違うよね

黒子１ うん、違う

黒子２ かぐや姫もじいさん出てくるね

黒子１ かぐや姫はかぐや姫の話だな

黒子２ 姫だね

黒子１ 白雪姫

黒子２ 親指姫

黒子１ 人魚姫

黒子２ シンデレラ

黒子１ 眠れる森の美女

黒子２ 眠れる森の美女って、ずっと眠れぬ森の美女だと思ってた

黒子１ それは不眠症の女の話か？

黒子２ 赤ずきんとかマッチ売りの少女はお姫様じゃないよね

黒子１ 違うな

黒子２ おとぎ話って難しいね

黒子１ いろいろあるからな

黒子２ 今日は何やるのかな？

黒子１ さあ、何だろ？

黒子２ 俺は花咲じいさんがいいな

黒子１ 何で？

黒子２ 桜の花が満開になるんだよ

黒子１ ああ、いいかもな

黒子２ でしょ？

黒子１ でも、俺はかぐや姫がいいと思うけど

黒子２ 何で？

黒子１ 月に帰っていく話だから

黒子２ ふーん

黒子１ どうなるか分かんないけどな

黒子２ ねえ、クロ

黒子１ 何だよ、シロ

黒子２ アリス、喜んでくれるかな？

黒子１ 喜んでくれるだろ

黒子２ だといいな

黒子１ さ、結構できたか？

黒子２ うん。もう袋いっぱいだよ

黒子１ あれ？　お前、四角に切ってるの？

黒子２ え？　ダメだった？

黒子１ いや、ダメじゃないけど。俺のは三角だから

黒子２ 本当だ

黒子１ 三角と四角で落ち方が違うんだよ

黒子２ そうなの？

黒子１ 三角だと細かくてヒラヒラする

黒子２ 四角は？

黒子１ 四角はぼた雪みたいにゆっくり落ちる

黒子２ ふーん

黒子１ お前も黒子ならそれぐらい知っとけよ

黒子２ うん

 黒子５、登場。

黒子５ お、やってるね

黒子２ キーちゃん

黒子１ 何、その格好？

黒子５ ハートの女王

黒子２ すごいね

黒子１ 気合い入ってんな

黒子５ 当たり前でしょ、今日は特別なんだから

黒子１ 特別？

黒子２ アリスの誕生日だからね

黒子１ それは毎年そうだろ

黒子５ アリスは明日で何歳になる？

黒子２ えっと

黒子１ 十七歳

黒子５ そう、十七歳

黒子２ 十七歳だと特別なの？

黒子５ 十七歳って、女の子にとって結構大切なんだよ

黒子１ そんなもんかね

黒子５ で、クロは帽子屋なの？

黒子１ ああ

黒子５ 頭のイカレた帽子屋ね

黒子２ そうなの？

黒子１ イカレてねえよ

黒子５ それだけの紙吹雪を切るって、十分おかしいと思うよ

黒子１ これはいいだろ。好きでやってんだから

黒子２ 俺も手伝ったよ

黒子５ ちょっとまいてみていい？

黒子１ ダメ

黒子５ 何で？

黒子１ 誰が掃除するんだよ、面倒くさい

黒子５ いいじゃん、ちょっとぐらい

黒子１ ふざけんな

黒子５ ケチ。言うこと聞かないと死刑にするよ

黒子１ やってみろ

黒子２ ケンカしないでよ

黒子１ してねえよ

黒子５ シロ、そろそろ行かなくていいの？

黒子２ あ、うん

黒子１ 迷子になるなよ

黒子２ ならないよ

 黒子２、退場。

黒子１ さて、俺らは準備するか

黒子５ 十七歳だって

黒子１ ん？

黒子５ もうそんなになるんだね

黒子１ そうだな

黒子５ 最初の誕生日は何歳の時だっけ？

黒子１ 覚えてないよ

黒子５ アリス、こんなに小さかったんだよ

黒子１ ああ

黒子５ あの子は知ってるの？

黒子１ 何を？

黒子５ 今年が最後だって

黒子１ 知らないだろ

黒子５ 教えなくていいの？

黒子１ 教えてどうなるんだよ

黒子５ だって

黒子１ 知らない方がいいよ

黒子５ そう？

黒子１ 知ってたら、楽しめないだろ

黒子５ 他のみんなは？

黒子１ あいつら不器用だからな。態度に出るから言ってない

黒子５ クロに不器用って言われたくないよね

黒子１ 何だよそれ。俺は手先は器用なんだぞ

黒子５ 知ってるよ

黒子１ 何にも気にしないで、いつも通りやろうよ

黒子５ それじゃダメだよ

黒子１ 何で？

黒子５ 今年は特別なんだから

黒子１ よく分からん。さ、準備するぞ

黒子５ 待ってよ

 黒子１、黒子５、退場。

 少女、登場。

少女 誕生日の前日はいつも不思議な夢を見る。私はおとぎ話の登場人物になって、不思議な冒険をするの。お姫様になって王子様と結婚したり、お菓子の家に住んだり、魔法のじゅうたんに乗って空を飛んだりすることもあった。誕生日の前日、私はいつも窓の外を見る。白い犬が走っていく。私はこっそり家を抜け出して、白い犬を追いかけるの。どこから夢が始まるのか分からない。でもそれが私の夢の始まり。私は明日で十七歳になる。明日になったら、きっと何かが変わるんじゃないかな。私の名前はアリス。十六歳の女の子

 オープニングアクト。

 少女、退場。

【２】 お茶の会

 黒子１・２・３・４・５、登場。

黒子３ 整列。番号

黒子１ 一

黒子２ 二

黒子３ 三

黒子４ 四

黒子５ 五

黒子３ よし、全員いるな

全員 はい

黒子３ いない人、手上げて

黒子４ はい

黒子３ えー、ではこれから

黒子４ 無視すんなよ

黒子３ えー、ではこれから

黒子４ 無視すんなよ

黒子１ しつこい、アオ

黒子４ だってさ

黒子５ 黙ってなさい

黒子４ はい

黒子３ ではこれから、お茶の会の準備を始めます

 黒子達、お茶の会の準備をする。

黒子３ 今日の我々は不思議の国のアリスの登場人物だ

黒子４ おう

黒子３ まさにアリスが不思議の国に迷い込んでくるわけだが。配役はどうなってる

黒子１ 帽子屋

黒子２ 犬

黒子５ ハートの女王

黒子４ サル

黒子３ 王子様。完璧だ

黒子１ 待て待て待て待て

黒子３ 何？

黒子１ おかしいよ

黒子３ そうだな。犬はおかしい

黒子１ そこじゃない。そこもだけど

黒子５ 本当はウサギだもんね

黒子４ え？　犬じゃなかったっけ？

黒子２ え？　犬じゃダメなの？

黒子１ 白いウサギを追いかけるんだろ

黒子３ 白いからいいじゃないか

黒子１ まあ、いいけどさ。アオ、お前、何でサルなの？

黒子４ ウキッ

黒子１ ウキッじゃねえよ

黒子４ あれ？　サルって出てこなかったっけ？

黒子５ 出てこない

黒子２ 出てくるのはネコとかネズミとかだよ

黒子４ そうなの？　間違えた

黒子１ 何と間違えたんだよ

黒子４ サルカニ合戦

黒子５ 何で？

黒子３ ま、いいだろ

黒子２ いいの？

黒子３ サルカニ合戦も似たような話だろ

黒子５ 全然違う

黒子１ で、アカ、お前は何で王子様なの？

黒子３ 物語に王子様は必要だろ

黒子５ 王子様、出てこないよ

黒子３ 俺は出てくる

黒子５ それは勝手に出てくるってこと？

黒子３ 俺は王子様しかやりたくないんだよ

黒子５ すごいわがまま

黒子２ 今日は何やるの？

黒子３ それはだな

黒子４ ババ抜き

黒子１ バカかお前は

黒子４ 何で？

黒子１ 俺たち黒子だぞ。物語作るのが仕事なんだよ。何でババ抜きしなきゃいけないんだよ

黒子４ 俺はババ抜き強いんだぞ

黒子１ 聞いてねえよ

黒子２ 人生ゲームがいい

黒子１ お前は黙ってろ

黒子３ 今日は桃太郎だ

黒子４ やった、桃太郎

黒子２ 桃太郎か

黒子４ 桃太郎ってどんな話？

黒子１ 知らないで喜ぶなよ

黒子３ 桃太郎は、犬とサルとハートの女王を仲間にして帽子屋を倒して王子様と結婚する話だ

黒子４ へえ

黒子１ 嘘つくな

黒子３ 嘘じゃない。大体合ってる

黒子１ 全然違うじゃねえか

黒子５ 王子様やりたいんだったら、シンデレラとかにすればいいじゃない

黒子３ じゃあシンデレラにしよう

黒子４ シンデレラって毒リンゴ食べる話だっけ？

黒子５ それは白雪姫

黒子４ 白雪姫ってどんな話？

黒子２ 小人が出てくるんでしょ？

黒子３ そう、七人の子ヤギ

黒子４ ああ、子ヤギの話か

黒子１ 違う

黒子４ オオカミに食べられるんだろ

黒子２ オオカミに食べられるのは赤ずきんじゃないの？

黒子４ じゃあ子ヤギは？

黒子３ 子ヤギはハイホーハイホー言いながら踊ってるんだよ

黒子５ それは小人

黒子１ 赤ずきんは、おばあさんにリンゴを持っていく話

黒子４ それが毒リンゴだな

黒子１ 違う

黒子３ 白雪姫は赤ずきんに殺されてしまうんだ

黒子１ 全然違う

黒子５ シンデレラの話でしょ？

黒子４ だから毒リンゴ食べるんだろ？

黒子１ そこに戻るな

黒子２ クロはかぐや姫がいいんでしょ？

黒子１ ああ

黒子４ かぐや姫ってどんな話？

黒子３ かぐや姫は月からやってくるんだ

黒子４ 宇宙人か

黒子５ まあ、そう……なのかな

黒子４ 自転車に乗って空を飛ぶ話か？（※４）

黒子１ 違う

黒子５ かぐや姫ね

黒子１ 何？

黒子５ 何でかぐや姫がいいの？

黒子１ 別にいいだろ

黒子２ 俺、花咲じいさんがいいな

黒子３ 花咲じいさんって、犬が燃え尽きて真っ白な灰になる話だろ（※５）

黒子５ それ、何か違う気がする

黒子２ 桜の花が満開になるんだよ。楽しいと思うよ

黒子５ でも、犬っていじわるじいさんに殺されちゃうんだよね

黒子２ あ

黒子３ よし、犬が死ぬ話だな

黒子４ あ、それおもしろそう

黒子２ ちょっと待って

黒子１ 犬が出てくるんだったら桃太郎の方がいいんじゃない？

黒子３ ああ、そうだな

黒子５ 鬼に殺されちゃうんだね

黒子２ え？

黒子１ あ、それがいいや

黒子３ 盛り上がる話は大体誰か死ぬからな

黒子２ そんなことないよ

黒子３ で、桃太郎が怒り狂ってパワーアップするんだろ

黒子４ ああ、クリリンが死んで悟空がスーパーサイヤ人になる感じだな（※６）

黒子５ じゃあそれで行こうか

黒子２ 待って

黒子３ 何？

黒子２ 犬って俺だよね？

全員 うん

黒子２ 俺、死ぬの？

全員 うん

黒子２ 嫌だよ。ちょっと待ってよ

黒子１ 文句言うなよ。決まったんだから

黒子２ まだ決まってないよ

黒子５ じゃあ犬が死ぬことに反対の人

 黒子２、挙手。

黒子５ 犬は死んだ方がいいと思う人

 黒子２以外、挙手。

黒子５ 犬は死ぬことに決定しました

黒子２ ちょっと待ってよ

黒子３ 何だようるさいな

黒子２ 考え直して

黒子１ ダメだよ、決まったんだから

黒子４ よかったな

黒子２ よくない

黒子３ 絶対格好良いよ

黒子４ がんばれよ

黒子５ 死んでね

黒子２ えー

 少女、登場。

少女 見つけた

黒子２ アリス

黒子４ あ、来たね

黒子３ よし、始めよう

少女 みんな、久しぶりね

黒子４ 久しぶり

黒子５ 元気そうね、アリス

少女 キーちゃん、素敵なドレスね

黒子５ ありがと

少女 これは何？

黒子３ お茶の会だよ

少女 なるほどね。クロは、帽子屋さん？

黒子１ ああ

少女 似合ってるよ

黒子１ ああ、ありがと

黒子２ アリス、何飲む？

少女 紅茶をいただくわ

黒子５ 砂糖ひとつでいい？

少女 うん

黒子３ 俺は三つ

少女 三つ？

黒子３ 甘党だから

黒子１ 俺はいらない

黒子４ ブラックだな

黒子１ ストレートだよ

黒子４ クロだけにな

黒子１ うまくねえよ

黒子４ じゃあ俺もブラックで

黒子１ 紅茶だろ

黒子３ じゃあ俺はホワイトで

少女 ホワイトって何？

黒子３ ミルク

黒子２ 俺もミルクがいい

黒子５ はい、ミルク

黒子２ ありがと

黒子４ これ、全然味がしない

黒子３ 糖分が足りないんだよ。ほら（黒子４の紅茶に砂糖を入れる）

黒子４ やった

少女 みんな相変わらずだね

黒子２ 相変わらずって？

黒子１ 相変わらずバカってことだろ

黒子５ 言えてる

黒子４ これ、全然溶けないぞ

黒子５ 入れすぎだよ、砂糖

黒子３ アリスは綺麗になったね

少女 そう？　ありがとう

黒子３ 結婚しよう

少女 え？

黒子５ 何口説いてんの？

黒子３ 王子様としては女性を口説くのがマナーだろ

黒子２ それ、ダメじゃないの？

少女 アカ、王子様なの？

黒子３ そうだよ。格好良いだろ

少女 似合わない

黒子３ そうかな

黒子４ アリス、ちょっと大人っぽくなったよな

少女 本当に？

黒子３ うん。これは先が楽しみだ

黒子１ 変なこと考えるなよ

黒子３ 変なことって何だよ

黒子１ お前、変態だからな

黒子３ 変態じゃなかったら、俺はどうやって生きていったらいいんだよ

黒子５ 死ねば？

黒子３ ひどっ

少女 アオは何？

黒子４ サルだよ

少女 ああ、サルね

黒子１ そこは納得するのかよ

少女 いいじゃない、サルがいたって

黒子４ だろ？

少女 今日は何をするの？

黒子３ シンデレラ

少女 シンデレラ？

黒子２ アカ、さっき桃太郎がいいって言ってなかった？

黒子３ いや、シンデレラがいい

黒子４ じゃあ俺が王子様やる

黒子３ 待て待て、王子様は俺だろ

黒子４ 俺だってアリスと結婚したい

少女 それはちょっと

黒子４ 何で？

少女 だってサルでしょ？

黒子３ じゃあ俺が

少女 嫌

黒子４ お前じゃダメだよ

黒子１ お前が言うな

黒子５ 話がまだ決まってないんだよね

黒子２ どうする？

少女 候補はあるの？

黒子１ 桃太郎、シンデレラ、かぐや姫、花咲じいさん

少女 おもしろそうだね

黒子１ おもしろそうでも、話が決まらないと

少女 じゃあ全部やろう

黒子達 え？

少女 全部やったらいいんじゃない？

黒子１ どうやって？

少女 それはみんなで考えてよ

黒子２ ええ？

黒子４ おもしろそう

黒子５ 無茶言うね、相変わらず

少女 できる？

黒子５ 何とかする

黒子１ 何とかできるか？

黒子５ それをやるのが仕事でしょ

黒子３ じゃあ俺が王子様だな

黒子１ 自分だけ勝手に決めるなよ

少女 クロは何の役？

黒子１ 俺？　えっと

黒子３ お前は鬼だ

黒子１ 鬼？

黒子３ バイキンマンみたいだからな（※７）

黒子１ バイキンマンって言うな

黒子４ じゃあ俺は

黒子５ アオはサルでしょ？

黒子４ ウキッ

黒子３ よし、じゃあ準備するぞ

黒子５ これ、片づけてね

黒子達 おう

 黒子１・２・３・４、お茶の会の片づけをしながら退場。

少女 ねえ、キーちゃん

黒子５ 何？　アリス

少女 聞いてほしいことがあるの

黒子５ うん

少女 私ね、クロが好きなの

 間。

黒子５ いきなりどうしたの？

少女 言っておきたかったの

黒子５ 知ってたよ

少女 やっぱり？

黒子５ 何となくね

少女 ちょっとすっきりした

黒子５ クロに告白するの？

少女 できないよ

黒子５ どうして？

少女 言ってもどうしようもないじゃない

黒子５ でも言わなきゃダメだよ

少女 私、十七歳になるから

黒子５ うん

少女 だから、これで終わりにする

黒子５ ダメだよ

少女 え？

黒子５ これで終わりにしないで

少女 キーちゃん

黒子５ さ、準備しなきゃ

少女 あ、待ってよ

 少女・黒子５、退場。

【３】　桃太郎

 黒子５、登場。

黒子５ むかしむかし、あるところに、おじいさんとおばあさんがいました。おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは川へ洗濯に行きました。すると川の上流から、大きな桃がどんぶらこ、どんぶらこと流れてきました。おばあさんは桃を家に持って帰りました。おじいさんと桃を割ってみると、中からかわいらしい女の子が出てきました。二人は女の子にアリスという名前をつけ、大事に育てました

 少女、登場。

少女 おばあさん

黒子５ おや、アリス。何をしてるんだい？

少女 ねえ、白い犬がこっちに来なかった？

黒子５ いや、来てないよ

少女 おかしいな。どこに行ったんだろう？

黒子５ どうしたの？

少女 犬が走っていったの

黒子５ そりゃ犬だから走るよ

少女 でも、二本の足で走っていったの

黒子５ 犬だって二本足で走りたいときもあるよ

少女 それに喋ってたよ

黒子５ 犬だって喋りたいときもあるよ

少女 変な犬

黒子５ ほら、あの犬じゃない？

 黒子２、登場。

少女 あ、見つけた

 少女、黒子２を捕まえる。

黒子２ ワンワン

少女 おばあさん、この犬だよ

黒子５ ああ、シロだね

黒子２ ワンワン

少女 知ってるの？

黒子５ 知ってるよ

少女 変な犬だね

黒子２ 変じゃないよ

少女 ほら、喋った

黒子２ 放してよ

少女 逃げちゃダメだよ

黒子２ 分かった

 少女、黒子２を放す。黒子２、逃げる。

少女 逃げた

黒子５ 待て

 少女・黒子５は黒子２を追いかける。黒子２を捕まえて戻ってくる。

黒子２ 痛い、痛い、放して

黒子５ 逃げるなって言ったろ

黒子２ もう逃げないから、ごめん、許して

黒子５ 言うこと聞かないと殺しちゃうよ

黒子２ ワン

少女 かわいそうだよ、許してあげようよ

黒子５ また逃げたらどうするの？

少女 いいよ、また捕まえるから

黒子５ 仕方ないね

黒子２ アリス、ありがとう

少女 よかったね

黒子５ じゃあアリス、この犬を連れて鬼ヶ島に行っておいで

少女 うん、分かった

黒子２ え？　鬼ヶ島？

黒子５ しっかり働くんだよ

黒子２ あ、結構急展開だね

少女 よろしくね

黒子２ 分かった

黒子５ じゃあこれをあげるよ

少女 これは何？

黒子５ きびだんごだよ

黒子２ きびだんごだ

少女 ありがとう

黒子５ じゃあ、がんばるんだよ

 黒子５、退場。

少女 私はこれから鬼ヶ島に行くのね

黒子２ そうだね

少女 そこで王子様と結婚するのね

黒子２ え？　何で？

少女 王子様と結婚できたら素敵だと思わない？

黒子２ そりゃ素敵だと思うけど

少女 シロ、きびだんご食べる？

黒子２ うん、食べる

 黒子２はきびだんごを食べる。

黒子２ めちゃくちゃまずいね、これ

少女 そうなの？

黒子２ 変な味がする

少女 ふーん

黒子２ これ、仲間にする人にあげるんだよね？

少女 そうだと思うよ

黒子２ こんなの食べて仲間になってくれるかな？

少女 シロは仲間になってくれないの？

黒子２ 俺は仲間になるよ

少女 じゃあ大丈夫

黒子２ 大丈夫かな？

少女 仲間にするならなるべく強そうな人がいいな

 黒子３、登場。

黒子３ やあ

少女 仲間にするならなるべく普通の人がいいな

黒子３ 待て待て。無視するな

黒子２ あんた、何？

黒子３ 王子様だよ

少女 王子様？

黒子３ さあアリス、舞踏会に行こう

少女 連れて行ってくれるの？

黒子３ もちろんさ

少女 じゃあ行くわ

黒子２ 待ってよ

少女 何？

黒子２ 鬼ヶ島に行くんだろ？

少女 そうだよ

黒子２ 舞踏会には行かないよ

黒子３ 何だよ、お前、邪魔するのか？

黒子２ そうじゃないけど

少女 鬼ヶ島で舞踏会をすればいいんでしょ？

黒子２ え？

少女 ね？

黒子３ ああ、その通りだ

黒子２ え？　それでいいの？

黒子３ さあ、鬼ヶ島に行こう

黒子２ 何か変だよ

黒子３ 変じゃない

少女 変だね

黒子３ 変か？

少女 あなた、本当に王子様？

黒子３ そうだよ

少女 王子様は仲間にならないはずだけど

黒子３ ならないのか？

少女 うん

黒子３ 何が仲間になるんだ？　サルとキジか？

少女 ううん、キリン

黒子３ キリン？

少女 キリンがいい

 間。

黒子３ 本当はキリンなんだ

少女 え？

黒子３ 王子様に見えるけど本当はキリンなんだ

黒子２ どこが？

黒子３ キリンに見えないか？

少女 見えない

黒子３ そんなことないぞ。どう見てもキリンだろ

少女 首、長くないじゃん

黒子３ 首が長いだけがキリンだと思うなよ

少女 首が長くなきゃキリンじゃないでしょ

黒子２ 何でキリンなの？

少女 かわいいかなって思って

黒子２ おかしいよ

少女 うん、かわいくないもんね

黒子２ そういう問題なの？

黒子３ じゃあもう一人の仲間を紹介しよう

黒子２ え？

少女 もう一人ってサルじゃないよね？

黒子３ え？

少女 サルなの？

黒子３ サルなわけないだろ

少女 よかった

黒子２ いいの？

黒子３ 何がいいんだ？

少女 ペンギン

黒子２ ペンギン？

少女 ペンギンがいい

黒子３ よし、来い。ペンギン

 間。

黒子３ あれ？

黒子２ 来ないね

黒子３ おーい。ごはんだぞー

 黒子４、登場。

黒子４ ごっはん、ごっはん、ごっはん、ごっはん、ごっはん、ごっはん、ごっはん、ごっはん……ごはんは？

黒子３ 遅いぞ、馬鹿者

黒子４ 申し訳ありません

黒子３ 呼ばれたらすぐに駆けつけろ

黒子４ 申し訳ありません

少女 ……ペンギン？

黒子３ ペンギンだ

黒子２ これ何？

黒子３ ペンギンだよ

少女 どこが？

黒子３ どこがって、見たまんまだよ

少女 全然分かんない

黒子３ 分かるだろ

少女 だってかわいくないもん

黒子２ 何でペンギンなの？

少女 かわいいかなって思って

黒子４ 質問があります

黒子３ 何だ

黒子４ 自分のごはんはどこにあるのでしょうか

黒子３ そんなものはない

黒子４ 了解しました

黒子２ 変なの

少女 こんなのペンギンじゃない

黒子３ そんなことないよ。ペンギンそのものだ。ほら、歩き方だって

 黒子４、ペンギンらしく歩く。

黒子３ ほら、ペンギンそっくりだ

少女 そっくりってことはペンギンじゃないってことでしょ

黒子２ 上手い

少女 褒めないで

黒子３ じゃあ鳴いてみよう

 黒子３と黒子４は打ち合わせをする。

黒子４ ペンギン

少女 ペンギンはそんな風に鳴かない

黒子２ 上手い

少女 上手くない

 黒子４、「ペンギン」と鳴きながら歩き回る。

少女 もっとかわいいのがよかった

黒子３ かわいいだろ？

少女 気持ち悪い

黒子２ 何で軍人みたいな喋り方するの？

黒子３ 分かんない。（黒子４に）うるさい。黙ってろ

黒子４ 申し訳ありません

少女 変なの

黒子３ 俺達が君の仲間だ

少女 こんな仲間嫌だ

黒子３ さあ、鬼ヶ島に行こうじゃないか

少女 だから嫌だって言ってるじゃない

黒子３ アリス、結婚しよう

少女 話聞いてよ

黒子４ 質問があります

黒子３ 何だ？

黒子４ 自分はどこが気持ち悪いのでしょうか

少女 全部

黒子３ 王子様と結婚したいんだろ？

少女 そうだけど、あなたとは結婚したくない

黒子２ だろうね

黒子３ 新婚旅行は熱海にしよう

少女 話聞いてよ

黒子３ いいだろ、それでめでたしめでたしにしよう

少女 そんなの全然めでたくない

黒子２ どうしたらいいの？

黒子４ 隊長

黒子３ 何だ？

黒子４ お腹が空いたであります

黒子３ 我慢しろ

黒子４ しかし、腹の虫が悲鳴を上げております

黒子３ どんな風にだ

黒子４ ペーン

黒子３ 泣くな、馬鹿者

黒子４ 申し訳ありません

黒子３ 貴様それでも軍人か

黒子４ 申し訳ありません

少女 じゃあこれあげる

黒子４ ありがとうございます

 黒子４、きびだんごを食べる。黒子４、うずくまる。

黒子２ あれ？

黒子３ どうした？

黒子４ 苦しい

少女 大丈夫？

黒子３ 何を食べさせたんだ？

少女 きびだんご

黒子３ 苦しそうだぞ

少女 そんなこと言われても

黒子２ そのきびだんご、死ぬほどまずいよ

黒子３ 大丈夫か

黒子４ 隊長、自分はもうダメであります

黒子３ しっかりしろ、死ぬんじゃない。今、人工呼吸を

黒子４ 人工呼吸なら、あの子に

少女 絶対嫌

黒子４ うあああああ

黒子３ しっかりしろ、おい、ペンギン、ペンギン

 間。

少女 死んだ？

黒子３ いや、気を失ってるだけだ

少女 何だ、死んでないのか

黒子２ いやいや、死んだら困るでしょ

黒子３ 何てことするんだよ

少女 別に何もしてないよ

黒子３ じゃあどうしてこんなことになるんだ

少女 知らない

黒子２ きびだんごはおばあさんがくれたんだよ

黒子３ おばあさん？

少女 私のおばあさん

黒子３ そのババアが黒幕だな

 黒子５、登場。

黒子５ ババアじゃないよ

少女 おばあさん

黒子３ 出たな、鬼婆

黒子５ 口のきき方に気をつけな、小僧

黒子２ どうしてここに？

黒子５ 毒入りだんごはどうだった？

少女 え？　毒入り？

黒子３ やはりお前の仕業か、妖怪クソババア

黒子５ 誰が妖怪だ

黒子３ 狙いは何だ

黒子５ 邪魔者を消すためだよ

黒子２ 邪魔者？

黒子５ こいつらはアリスの邪魔をしようとしてるんだ

少女 どういうこと？

黒子３ そんなわけないだろ。仲間になってやろうって言ってるんだ

黒子５ お前、アリスをどこへ連れて行く気だ？

黒子３ 鬼ヶ島だ

黒子５ 違うな

黒子３ 何が違う

黒子５ お前はアリスを自分の城に連れて帰って結婚する気だ

黒子３ その通りだ

少女 え？

黒子３ あ、つい本音が

黒子２ そうだったのか

黒子５ こいつを仲間にしちゃいけないよ

少女 騙したのね

黒子３ 騙してない

黒子５ だったらきびだんごを食べてごらん

黒子３ え？

黒子５ アリスの仲間になれるなら、きびだんごを食べても大丈夫なはずだよ

黒子３ 大丈夫なわけないだろ、毒入りなんだぞ

少女 シロは大丈夫だったよ

黒子２ うん、まずかったけど

黒子３ 本当か？

黒子５ さ、どうするの？

黒子３ いただこう

黒子２ 本当に？

黒子３ 愛する者のためだ

少女 どうぞ

黒子３ 必ず最後に愛は勝つ（※８）

 黒子３はきびだんごを食べる。黒子３、うずくまる。

黒子２ あ、ダメだった

黒子５ そりゃそうでしょ

少女 やったね

黒子２ 大丈夫？

黒子３ パトラッシュ……疲れただろ……（※９）

黒子２ え？　何言ってんの？

黒子３ パトラッシュ……僕も疲れたんだ……何だかとても眠いんだ……（※９）

黒子２ 俺、パトラッシュじゃないよ

黒子３ お前もこれを食って死ね

黒子２ うわあ、ちょっと待って

 黒子３は黒子２にきびだんごを食べさせる。

黒子２ やっぱりまずいよ

少女 シロは平気なんだね

黒子３ 何で平気なんだよ

黒子５ 日頃の行いじゃない？

黒子３ くそ。アオ、起きろ

 黒子４、起きる。

黒子４ 俺は今まで一体何を

黒子３ 目を覚ませ

黒子４ さっき、川の向こうで死んだじいさんが手振ってた

少女 そのまま渡ったらよかったのに

黒子４ 一体どうなってるんだ？

黒子３ 全部こいつのせいだ

黒子４ 何だ、このババアは

黒子５ お姉さんと言いなさい

黒子４ 何だ、このお姉さんは

黒子３ こいつがきびだんごに毒を入れたんだ

黒子４ 何だと

黒子５ お前達にアリスは渡さないよ

黒子４ 危うく死ぬところだった

黒子３ このままですむと思うなよ

少女 どうするの？

黒子３ 勝負だ、鬼ババア

黒子５ 望むところよ

黒子２ え？

黒子３ こいつを倒してアリスと結婚するんだ

黒子４ 俺も結婚する

黒子２ 何でそうなるの？

少女 キーちゃん、がんばって

黒子５ 任せて

黒子２ それでいいの？

黒子３ 行くぞ

 黒子１、登場。

黒子１ おい

黒子４ え？

少女 クロ

黒子１ 俺の出番は？

黒子３ お前は何だ？

黒子１ 鬼だよ

黒子４ 鬼？

黒子１ 何で俺のところに来ないの？

黒子３ 待て、それどころじゃないから

黒子１ 待てじゃねえよ。ちゃんと俺のところに来いよ

黒子５ ごめんね、話の流れで

黒子１ どんな流れだよ

黒子２ どうしよう

少女 クロ

黒子１ 何？

少女 行きましょ

黒子１ え？

 少女、黒子１を連れて退場。

黒子３ 待て

黒子４ どこへ行くんだ

黒子２ どうなってるの？

黒子３ 追いかけるぞ

黒子４ おう

 黒子３・４、退場。

黒子５ おもしろくなってきたね

黒子２ わけが分かんないよ

 黒子２・５、退場。

 少女・黒子１、登場。

黒子１ アリス、ちょっと待てよ

少女 何？

黒子１ どうなってるんだ？

少女 何が？

黒子１ 何がじゃねえよ

少女 クロは悪い奴らから私を守ってくれるんでしょ？

黒子１ それ、おかしくない？

少女 どうして？

黒子１ 桃太郎だろ？

少女 桃太郎だよ

黒子１ 俺、鬼だよ

少女 鬼だよ

黒子１ 何で鬼が桃太郎を守るんだよ

少女 いいじゃない、守ってくれたって

黒子１ よくないだろ

少女 嫌なの？

黒子１ 嫌とかそういう問題じゃなくてさ

 黒子３・４、登場。

黒子３ 見つけたぞ

黒子４ アリスを返せ

黒子１ 来やがった

黒子３ アリスをさらった極悪非道の鬼め、成敗してくれる

黒子４ 覚悟しろ

黒子１ 待てよ、さっきのは俺がさらったんじゃなくて

少女 助けて

黒子１ おい

黒子４ アリス、今助けるよ

黒子３ 行くぞ

黒子１ 何なんだよ一体

 黒子１と黒子３・４が戦う。

黒子３ どうした、貴様の力はその程度か

黒子１ めんどくせえな

少女 クロ、しっかりしてよ

黒子１ どっちの味方なんだよ

少女 勝った方と結婚してあげる

黒子４ 本当？

黒子１ 何でそうなるんだよ

 再び襲いかかる黒子３・４。黒子１はダメージを受ける。

黒子３ クロ、天に帰るときが来たのだ（※10）

黒子１ 帰らねえよ

黒子４ そろそろ年貢の納め時だ

黒子１ 偉そうに

少女 何してるの、がんばってよ

黒子１ 無茶言うな、二対一なんだ

黒子３ これで終わりだ。死ね

黒子２ ちょっと待った

 黒子２、登場。

少女 シロ

黒子１ 何やってんだよお前

黒子２ ごめん、遅れた

黒子３ 目立った登場しやがって

黒子４ お前、裏切ったな

黒子２ うるさい。アリスは俺が守る。行くぞ

 黒子２は黒子４を倒す。

黒子２ お前はもう死んでいる（※10）

黒子４ ひでぶ（※10）

黒子３ アオ

黒子２ 後はお前だけだ

黒子３ 貴様、よくもアオを。許さん

 黒子３は黒子２を攻撃。

黒子３ 貴様には地獄すら生ぬるい（※10）

黒子２ くそ

黒子１ しっかりしろ

少女 大丈夫？

黒子２ ごめん、もうダメかも

黒子３ 死ね

 黒子３が黒子２を倒す。

黒子１ シロ

少女 しっかりして

黒子２ ごめん、守ってあげられなかった

黒子１ 喋るんじゃない

黒子２ 今度生まれ変わったら、人間に

 黒子２は力尽きる。

少女 シロ

黒子３ くたばったか。次はお前の番だ

少女 よくもシロを。許さない

黒子３ え？　いや、アリスは戦わなくていいんだけど

少女 覚悟

 少女は黒子３を倒す。

黒子３ 我が生涯に一片の悔いなし（※10）

黒子１ めちゃくちゃ強いな

少女 私を怒らせるからよ

黒子１ 守ってもらう必要ないじゃん

少女 守ってもらいたいの。クロ、どうしてやられちゃうの？

黒子１ あいつら結構強かったよ

少女 もっとがんばってよ

黒子１ 鬼はやられる役なんだからそれでいいだろ

少女 それじゃダメなの

黒子１ 何で？

少女 何でって

 黒子３が起き上がり、少女を捕まえる。

黒子３ よくもやってくれたな

少女 放して

黒子１ お前、まだ生きてたのか

黒子３ この程度で死んでたまるか。おい、アオ。起きろ

 黒子４、起きる。

黒子４ お腹空いた

黒子３ 寝ぼけるな

黒子４ 僕の頭をお食べよ（※７）

黒子３ いらねえよ

少女 どうするつもりなの？

黒子３ アリス、俺が君の夢を叶えてあげるよ

黒子１ 何だと？

アリス 私の夢？

黒子３ 君をネバーランドに連れていってあげる。出でよ、我がしもべよ（※11）

 黒子５・６・７、登場。黒子６はタンバリンを叩き、黒子７はギターを弾いて、二人で歌を歌っている。

黒子１ 何なんだ？　こいつらは

黒子５ シロ、いつまで寝てるの？

 黒子２、起きる。

黒子２ あれ？

黒子５ 起きた？

黒子２ 何これ？

黒子３ 俺のしもべ、ティンカーベルとフック船長だ

黒子６ ティンカーベルです

少女 ティンカーベル？

黒子６ そう、私は妖精

少女 ちょっと待って、妖精？

黒子６ そう、妖精

少女 イメージと違う

黒子１ 何でそんなのが出てくるんだよ

黒子７ フック船長だ

黒子１ おかしいだろ

黒子７ フック船長だ

黒子４ すげえ、かっこいい

黒子１ フック船長は敵だろ

黒子７ そんな細かいことにこだわってどうする

黒子１ こだわれよ

黒子２ 何で歌ってるの？

黒子３ ブレーメンの音楽隊だからな

黒子１ ブレーメンの音楽隊はロバと犬と猫とニワトリだろ

黒子７ そんな細かいことにこだわってどうする

黒子１ こだわれよ

黒子３ さあ、お前たちの力を見せてやれ

黒子７ 歌うフック船長

黒子６ 踊るティンカーベル

黒子７ 漫才をします

 黒子６・７は漫才をする。

黒子１ 漫才をするな

黒子６ 邪魔するなよ

黒子７ そうだそうだ

黒子１ うっとうしいな

黒子３ どうだ、まいったか

黒子１ 何にだよ

黒子５ さ、行くよ

少女 どこに？

黒子５ 舞踏会に行くんでしょ？

少女 うん

黒子６ さあみんな、楽器を持つんだ

黒子２ 楽器？

黒子７ 犬とサルとロバは音楽隊に入るんだ

黒子４ 分かった

黒子２ え？　そうなの？

黒子６ ほら、ロバ。早くしろ

黒子３ 俺はロバじゃねえよ

 全員、タンバリンやカスタネットやマラカスを持ち、音を鳴らす。

黒子１ 打楽器ばっかりだな

黒子５ 仕方ないでしょ、楽器なんかできないんだから

黒子３ そうだよ

黒子１ そうだけどさ

少女 おもしろいね

黒子１ そうか？

少女 うん、おもしろい

黒子６ よし、じゃあ行くぞ

 全員で演奏する。

黒子３ さあ行くぞ

黒子５ 舞踏会へ

黒子６ ネバーランドへ

黒子７ 鬼ヶ島へ

黒子４ お菓子の城へ（※12）

黒子１ お前ら統一しろよ

少女 行こう

 全員、退場。

【４】　シンデレラ

 少女、登場。

少女 こんばんは

 間。

少女 誰かいないの？

 間。

少女 おかしいな。誰もいないの？　本当にここがお城？

 黒子１、登場。

黒子１ いらっしゃいませ

少女 あ、あの、舞踏会ってここでいいんですか？

黒子１ そうです

少女 よかった

黒子１ ようこそお越しくださいました。ここでしばらくお待ちください

少女 あの

黒子１ 何か？

少女 その喋り方、似合わないよ

黒子１ そんなこと言うなよ。こっちだって一生懸命やってんだから

少女 ごめんね。クロは踊らないの？

黒子１ 俺？　何で？

少女 何でって言われても

黒子１ 私はただの召使いですから。舞踏会なんてとても参加できません

少女 似合わないよ

黒子１ 舞踏会の方が似合わないよ

 黒子５、登場。

黒子５ アリス、こんばんは

少女 キーちゃん

黒子５ ちゃんと心の準備はできてる？

少女 準備って何？

黒子５ 結婚相手を決めるんでしょ？

少女 え？　そうなの？

黒子１ そうだろ

少女 あ、そうなんだ

 黒子４が踊りながら登場。

黒子４ こんばんは

少女 何やってるの？

黒子４ 踊ってるんだよ

黒子１ 踊りが変だよ

黒子４ そうかな？

黒子５ うん、変

黒子４ そんなことないよ

黒子５ 舞踏会ってそういうのじゃないでしょ？

黒子４ アリスも踊ろう

少女 嫌

黒子４ どうして？

少女 そんな踊りは嫌だ

黒子１ 目障りだな

黒子５ クロ

黒子１ 何？

黒子５ 捨ててきて

黒子１ 分かった

黒子４ え？　ちょっと待ってよ。何でだよ

黒子１ ほら、行くぞ

 黒子１は黒子４を連れて退場。

少女 どうしてクロが王子様じゃないの？

黒子５ やりたがらないからね、そういうの

少女 難しいな

黒子５ 何とかしてあげる

少女 本当？

黒子５ 当たり前でしょ。私は魔法使いなんだから

少女 ハートの女王じゃなくて？

黒子５ ハートの女王で、魔法使い

少女 すごいね

黒子５ でも、それでいいの？

少女 何が？

黒子５ クロが王子様になって、それでいいの？

少女 分かんない。でも大丈夫。ちゃんと考えてるから

黒子５ そう

少女 みんなはどこに行ったの？

黒子５ どうせその辺でコソコソ何かしてるんでしょ

少女 探検してくる

 少女、退場。

黒子５ さ、がんばろうかな

 黒子５、退場。

 黒子３・４、登場。

黒子３ 星が綺麗ですね

黒子４ ええ、そうね

黒子３ この指輪をあなたに贈ります

黒子４ まあ素敵。ありがとう

黒子３ でも、空に輝く星たちよりも、この宝石よりも、あなたの方が美しい

黒子４ 嬉しい

黒子３ 踊りましょう

黒子４ 踊りましょう

 黒子２、登場。

黒子２ あ、二人はそういう関係だったの？

黒子３ 違う

黒子２ いい雰囲気だったよ

黒子４ だろ？

黒子３ お前、そういう誤解されそうなことを言うな

黒子２ 何してたの？

黒子３ シミュレーションだよ

黒子２ シミュレーション？

黒子３ アリスに指輪をプレゼントして、プロポーズするんだ

黒子２ そんなにうまくいくかな？

黒子３ 絶対うまくいく

黒子４ 当たって砕けろだな

黒子３ シロ、お前も協力しろ

黒子２ え？　俺も？

黒子３ 王子様と結婚すればアリスは幸せになるだろ？

黒子２ まあ、そうだと思うけど

黒子３ ビーフジャーキーやるから

黒子２ ワン

黒子４ 俺もほしい

黒子３ 分かったから。アリスを連れてきてくれ

黒子４ 了解

 黒子２・４、退場。

 黒子１、登場。

黒子１ 何やってんの？

黒子３ プロポーズの練習

黒子１ プロポーズ？

黒子３ アリスにプロポーズするんだよ

黒子１ まだ諦めてなかったのか

黒子３ 何で諦めるんだよ

黒子１ 何でお前が王子なの？

黒子３ 俺が王子じゃなかったら誰が王子なの？

黒子１ さあ？

黒子３ やりたい奴がやりたいことをやればいいんだ

黒子１ それでアリスが納得するか？

黒子３ だったらお前が何とかしてみろ

黒子１ 何で俺なんだよ

黒子３ 分かってるくせに

黒子１ 分かんねえよ

 黒子１、退場。

 黒子２・４、登場。

黒子２ 来たよ

黒子４ さ、隠れろ

黒子３ 隠れる？

黒子２ 雰囲気が大事なんだから、隠れてた方がいいだろ

黒子４ いいタイミングで呼ぶからさ。ほら

黒子３ 分かった。頼むぞ

 黒子３、退場。

 少女、登場。

少女 どうしたの？

黒子４ いや、ちょっとね

少女 シロ、どうしたの？

黒子２ アリスに会いたがってる人がいるんだ

少女 誰？　王子様？

黒子４ その通り

少女 王子様って誰なの？

黒子２ それは、ね

黒子４ 会ってからのお楽しみだよ

少女 ふーん

黒子４ じゃあ、今から連れてくるから待ってて

少女 いや、いいよ。会いたくないから

黒子２ え？　何で？

少女 何となく

黒子２ 王子様に会わないと話が進まないよ

少女 そんなこと言われても

黒子４ 大丈夫だよ、会えばきっと気持ちが変わるから

少女 そうかな？

黒子４ そうだよ

黒子２ ほら、呼ぶよ。王子様

黒子４ 王子様

 黒子３、登場。

黒子３ こんばんは

少女 この人は違います

黒子４ 何言ってるんだよ、王子様だよ

黒子３ アリス、踊りましょう

少女 嫌

黒子２ やっぱりダメだった

黒子３ 何でうまくいかないんだ？

黒子４ 登場の仕方は悪くなかったと思うけど

黒子３ もっと派手な方がよかったんじゃないか？

少女 ねえ、本当にこの人、王子様なの？

黒子４ うん、そうだよ

黒子２ 多分ね

黒子３ 多分って何だよ

黒子２ いや、よく分かんないからさ

少女 本当に王子様なの？

黒子３ そうだ

少女 アオ

黒子４ 何？

少女 本当に王子様なの？

黒子４ 本当だよ

少女 あなた、騙されてない？

黒子４ どういうこと？

少女 本当は王子様じゃないんじゃないの？

黒子４ そうなの？

黒子３ 何言ってるんだよ

少女 本当はアカは鬼なんじゃないの？

黒子２ え？

少女 ここは実は鬼ヶ島で、王子様っていうのは世界征服を企む鬼なんじゃないの？

黒子２ 何で？

少女 そういう設定にしない？

黒子４ おもしろそう

黒子３ 待て、何を言ってるんだ

黒子２ それでいいの？

少女 ねえ、アオ

黒子４ 何？

少女 こいつ捕まえて

黒子４ いや、でも

少女 こいつは本当は鬼なの。あなた騙されてるの

黒子４ うん

黒子３ そんなわけないだろ。王子を捕まえるなんて重罪だぞ

黒子４ 重罪は嫌だ

少女 私が嘘ついてるっていうの？

黒子４ いや、そんなことないよ

黒子３ 騙されるな

少女 捕まえてくれたらペロペロキャンディあげる

黒子４ よーし、覚悟しろ

黒子３ 何でこうなるんだよ

少女 がんばれ

黒子２ どうなっちゃうんだよ、これ

 全員、退場。

 黒子３・４・５、登場。

黒子３ バカかお前は

黒子４ すみません

黒子３ 何で王子に襲いかかるんだよ

黒子４ すみません

黒子３ ちょっと考えたら分かるだろ

黒子４ 考えた結果、王子っていうより鬼っていう方がしっくりくるかなって

黒子３ 馬鹿野郎。最悪だよ。メチャクチャだよ。追いかけ回して池に突き落として袋だたきにして

黒子４ 調子に乗りすぎた

黒子５ ねえ

黒子３ 何？

黒子５ あんた達、バカでしょ

黒子３ うるさいよ

黒子５ アカ、もう諦めたら？

黒子３ 嫌だ

黒子５ アリス、どう考えてもアカのこと嫌いだよ

黒子３ そんなことないよ

黒子５ どこをどうしたらそう思えるの？

黒子４ ポジティブだからな

黒子３ キーちゃん、魔法使いだろ。俺をもっと格好良い王子様にしてくれよ

黒子５ あれ？　自信がないの？

黒子３ そんなことないよ

黒子５ だったら大丈夫じゃない

黒子３ 大丈夫なはずなんだけどな

黒子５ 私が魔法をかけるのはアリスよ。あんたは自分で何とかしなさい

黒子３ どうしたらいいかな

黒子５ 素敵なプレゼントをあげたら結婚できるんじゃないかな

黒子３ プレゼントか

黒子４ バナナがいいと思うよ

黒子３ お前は黙ってろ

黒子５ まだ指輪、渡してないんでしょ

黒子３ ああ

黒子５ 男でしょ。しっかりしなさいよ

黒子３ 任せろ

 黒子３、退場。

黒子５ これで玉砕してくれればオッケーね

黒子４ オッケーなの？

黒子５ アオはプレゼント渡さないの？

黒子４ バナナでいいかな

黒子５ もっといいものあげなよ

黒子４ バナナはいいものだよ

黒子５ アリスはね、クロの帽子を欲しがってるんだよ

黒子４ そうなの？

黒子５ 取ってきてくれない？

黒子４ え？　でも、クロ怒るんじゃない？

黒子５ アリスのためなんだから大丈夫だよ

黒子４ 大丈夫かな？

黒子５ アリスが喜ぶところ見たいでしょ

黒子４ うん

黒子５ お願いね

黒子４ 分かった

 黒子４・５、退場。

 少女・黒子１・２、登場。

黒子１ 待てよ

少女 ついてこないでよ

黒子１ 何であんなことするんだよ

少女 おもしろいと思って

黒子１ やりすぎだろ

少女 そうかな？

黒子２ そんなに怒るなよ

黒子１ 怒ってねえよ

少女 怒ってる

黒子１ アリスが変なことばっかりするからだろ

少女 いいじゃない、ちょっとぐらい

黒子１ でも、王子様と結婚しなきゃ話が終わらないだろ

少女 じゃあ、あの王子様と結婚したらよかったの？

黒子１ ま、多少不適切な王子かもしれないけど

黒子２ アカ、かわいそうだな

少女 私、帰ろうかな

黒子１ は？　何言ってんの？

少女 シロ、別のところに行こうよ

黒子２ え？　何で？

少女 せっかく舞踏会に来たのに全然楽しくないんだもん

黒子２ そんな

黒子１ だったらアリスはどうしたいんだよ？

少女 え？

黒子１ 無茶言って、メチャクチャやって。こっちだって一生懸命やってんだよ

少女 みんなだってメチャクチャやってるじゃない

黒子１ それが気に入らないのか？

少女 そんなことないよ

黒子１ じゃあ何で嫌がるんだよ？

黒子２ クロ、やめろよ

黒子１ 一体どうしたいの？

 間。

少女 分かんないよ

黒子２ 俺はいいと思うよ。ハチャメチャでおもしろいからさ

 少女、退場。

黒子２ あ、待ってよ、アリス

 黒子２、退場。

 黒子４、登場。黒子１の帽子を奪う。

黒子１ 何するんだよ

黒子４ ウキッ

黒子１ ウキッじゃねえよ

黒子４ これ、もらってくね

黒子１ バカ、返せ

黒子４ ダメだよ

黒子１ 待て、この野郎

 黒子１・４、退場。

 少女、登場。しばらくして黒子３、登場。

黒子３ アリス

少女 アカ

黒子３ また会えて嬉しいよ

少女 さっきはごめんなさい

黒子３ いいよ。勘違いなんて誰にでもあるんだから

少女 今度はコンクリートで固めて海に沈めてあげる

黒子３ それは楽しみだな

 間。

黒子３ 何してるの？

少女 月を見てるの

黒子３ 綺麗な月だね

少女 うん

黒子３ アリス、君に渡したいものがあるんだ

少女 何？

 黒子３は少女に指輪を渡す。

少女 指輪ね

黒子３ これを受け取ってほしい

少女 綺麗な指輪

黒子３ でも、君の方が綺麗だよ。あの輝く星達よりも、どんなに美しい宝石よりも、君の方がずっと綺麗だ

少女 ありがとう

黒子３ あれ？

少女 何？

黒子３ 何かいつもと反応が違うな

少女 そう？

黒子３ いつもは、もっとこう、来るじゃない

少女 来るって何？

黒子３ いや、だからさ

少女 じゃあもっとけなした方がいいの

黒子３ そういうわけじゃない

少女 そういう気分じゃないの

黒子３ そう

少女 これは誕生日プレゼント？

黒子３ そうだよ

少女 いらない

黒子３ え？

少女 ごめん、受け取れない

黒子３ どうして？

少女 さよなら

黒子３ 待ってよ

少女 嫌

黒子３ 一緒に踊ろう

少女 踊る？

黒子３ 舞踏会なんだから

少女 ダメだよ

黒子３ アリス、結婚しよう

 間。

少女 ダメ

黒子３ どうしてもダメか？

少女 うん

黒子３ 俺の何がダメなの？

少女 全部

黒子３ 全部か

少女 私が好きなのはあなたじゃないから

黒子３ ……

少女 ごめんなさい

 少女、退場。

 黒子４、登場。バナナを黒子３に渡す。

黒子３ いらねえよ

 黒子１、登場。

黒子１ バカザル、帽子返せ

黒子４ ウキッ

 黒子１・４、退場。

黒子３ 何やってんだ、お前ら。俺もまぜろ

 黒子３、退場。

 黒子２・５、登場。

黒子５ 予定通りだね

黒子２ 予定通りなの？

黒子５ 終わりがよければいいよ

黒子２ そうだけどさ

黒子５ これでアカが玉砕して振り出し

黒子２ 最初からクロが王子様でよかったんじゃないの？

黒子５ それでうまくいかないから困ってるんでしょ

黒子２ そうなの？

黒子５ まずクロが嫌がるでしょ

黒子２ うん

黒子５ アリスだって素直じゃないんだから

黒子２ それは難しいな

黒子５ だからこんな面倒な話になってるの

黒子２ うまくいくかな

黒子５ それを何とかするんでしょ

黒子２ これからどうするの？

黒子５ クロはアオが連れてきてくれるはず

黒子２ ああ、あの帽子ね

黒子５ 帽子をアリスのところに届けるんだよ

黒子２ 分かった

黒子５ さ、行こうか

黒子２ ねえ

黒子５ 何？

黒子２ アリスは喜んでくれるかな？

黒子５ きっとね

黒子２ よし、行こう

 黒子２・５、退場。

 黒子１・３・４、登場。

 黒子１は帽子を取り返そうとするが、黒子３・４が返さない。

黒子１ お前ら、いい加減にしろよ

黒子３ 何だよ、もう終わりか？　情けないぞ

黒子１ どうするんだよ、その帽子

黒子４ 内緒

黒子１ 返せ

黒子４ ダメだよ

黒子１ 何でだよ

 黒子２、登場。

黒子２ いた

黒子３ シロ、お前も入れ

黒子２ うん

黒子３ 取られるんじゃないぞ

黒子２ 分かってるよ

黒子１ 返せ

黒子３ ほら、パス

黒子４ パス

黒子２ パス

黒子３ パス

黒子４ パス

黒子１ パス

黒子２ あれ？

黒子１ 間違えた

黒子３ お前、バカじゃないか？

黒子４ バカ

黒子１ 何だとてめえ

黒子４ うわあ

黒子３ シロ、逃げろ

黒子２ うん

 黒子１は黒子４を捕まえる。

 黒子２、帽子を持って逃げる。

 少女・黒子５、登場。

黒子５ ほら、早く

少女 ちょっと待ってよ

黒子２ あ、アリス。はい

少女 え？

 黒子２は少女に帽子を渡す。

黒子１ 待て、シロ。え？

少女 クロ

黒子１ アリス

 黒子２・３・４・５は隠れる。

少女 これ、クロの？

黒子１ ああ

 少女は帽子をかぶる。

黒子１ おい

少女 これ、もらってもいい？

黒子１ え？

少女 誕生日プレゼント

黒子１ そんなんでいいの？

少女 うん

黒子１ いいよ

少女 やった。ありがと

 間。

少女 あの

黒子１ 何？

少女 私と踊ってくれませんか？

黒子１ 俺と？

少女 うん

黒子１ ああ、いいよ

 少女と黒子１は踊る。

 黒子２・３・４・５は離れてアリス達を見ている。

黒子３ 素敵なプレゼントをくれた人と結婚する、か

黒子４ 結構いい雰囲気なんじゃない？

黒子５ そうね

黒子２ うまくいったかな

黒子４ この後、絶対チューするぞ

黒子３ しない

黒子４ するって

黒子３ ああ、フラれた

黒子５ あんた、いい加減諦めなさい

黒子３ 分かってるよ

黒子２ これでハッピーエンドになるかな

 黒子達、退場。

 踊りが終わる。

少女 ねえ

黒子１ ん？

少女 私ね、ずっと言いたかったことがあるの

黒子１ 何？

少女 あのね

 間。

少女 あの、私、ずっと前からあなたのことが

 十二時の鐘がなる。

少女 行かなきゃ

黒子１ え？

少女 もう行かなきゃ

黒子１ どうして？

少女 十二時の鐘が鳴ったから

黒子１ どういうこと？

少女 魔法が解けるの

黒子１ 魔法？

少女 さよなら

黒子１ 待って

少女 何？

黒子１ アリスは知ってたの？

少女 何を？

黒子１ 十七歳の誕生日が最後の夢だって

少女 知ってたよ。だってそれは自分で決めたんだもん

黒子１ どうして？

少女 十七歳になるから

 間。

少女 私、十七歳になったよ

黒子１ うん

少女 だから、もう終わり

黒子１ 俺さ、アリスのことが好きだ

 間。

少女 どうして？

黒子１ え？

少女 どうして今更そんなこと言うの？

黒子１ ……

少女 諦めようと思ったのに

黒子１ ごめん

少女 謝らないでよ

黒子１ ごめん

少女 夢は叶わないと思ったのに

黒子１ ……

少女 夢は終わりなんだね

黒子１ もう行かなきゃ

少女 待って

黒子１ 俺、もうすぐ消えてなくなるから

少女 そんなの嫌

黒子１ アリス

少女 何？

黒子１ 誕生日おめでとう

 黒子１、退場。

少女 待ってよ、クロ、ねえ

 少女、退場。

【５】　夢の中の夢

 黒子達、登場。

黒子３ おいおい、どうなってるんだよ

黒子４ 何、この展開？

黒子２ クロ

黒子１ 仕方ないだろ、時間なんだ

黒子４ 時間って何？

黒子５ 十七歳の誕生日が最後の夢

黒子３ 聞いてないぞ、そんな話

黒子１ 言ってないから

黒子３ 言えよ、そういう大事な話は

黒子２ どうして最後なの？

黒子１ アリスが自分で決めたんだ

黒子３ 納得できない

黒子４ そうだ、納得できない

黒子１ お前ら、ちょっと黙ってろよ

黒子３ 黙ってられるかよ。こっちは断腸の思いでアリスを諦めたんだぞ。何でこうなるんだよ

黒子４ アカは元々脈がなかったんだから、仕方ないよ

黒子３ お前、ひどいこと言うな

黒子５ 今日で最後だって決まってたんだよ。アリスも分かってた

黒子２ アリスがそれを望んだの？

黒子１ ああ

黒子２ そんなのおかしいよ

黒子５ シロ

黒子２ アリスは楽しみにしてたじゃないか。何で終わりなんだよ

黒子１ 俺に文句言うな

黒子２ アリスはこんなこと望んでない

黒子１ だったらお前が何とかしてみろ

黒子２ 何とかする

黒子１ え？

黒子２ 俺が何とかする

黒子１ できるわけないだろ

黒子２ できるよ

黒子３ なあ、俺達どうなるんだ？

黒子４ どうなるって？

黒子３ アリスの夢が終わったんだろ？

黒子５ 夢が終わったら、私達は消えてなくなる

黒子４ そうなの？

黒子５ それで、忘れられていくんだ

黒子２ ダメだよ

黒子１ いい加減にしろ

黒子２ クロはそれでいいのかよ。忘れられていいのかよ

黒子１ よくないよ

黒子２ だったら

黒子１ もう終わったんだ

 間。

黒子２ まだ終わってない

黒子１ え？

黒子２ アリスが忘れても、俺は絶対に忘れない

 黒子２、退場。

黒子５ どうするの？

黒子１ どうするって？

黒子５ これで終わりでいいの？

黒子１ アリスがそう決めたんだ

黒子５ 本当にそう思ってるの？

黒子１ どういう意味だよ

黒子５ あなた、女心が全然分かってないね

黒子３ 本当だよな

黒子４ な

黒子１ お前らに言われたくないよ

黒子５ もうちょっとアリスのこと考えてあげたら？

黒子１ よく分かんねえよ

 黒子１、退場。

黒子４ 行っちゃった

黒子３ いいのか？

黒子５ いいよ、ほっとけば

黒子３ 何であいつばっかりモテるんだ？

黒子５ さあ？

黒子３ 絶対俺の方がいい男だって

黒子５ はいはい

黒子４ 俺達、本当に消えちゃうの？

黒子３ 寂しいな

黒子５ あの二人次第だね

黒子３ 何とかできるか？

黒子４ どうだろう

黒子５ 最初の夢っていつだったっけ？

黒子３ 覚えてないな

黒子４ アリス、こんなに小さかったんだよ

黒子５ 毎年毎年誕生日にこうやって騒いで

黒子３ バカなことばっかりしてたな

黒子４ おもしろかったよ

黒子３ 大人になると夢は見ないのか？

黒子４ さあ？

黒子５ 大人になったら分かるんじゃない？

 黒子３・４・５、退場。

 少女、登場。

少女 初めて夢を見たのはいつだったんだろう。私はまだ小さくて、目に映るものはみんな大きく見えた。全てのことが不思議で、新鮮で、ドキドキした。初めてあなたに会ったのはいつだったんだろう。気がついたらあなたは目の前にいて、照れくさそうに笑ってた

 黒子１・３・４・５、登場。

黒子３ 君の名前は？

少女 アリス

黒子３ アリスか

黒子５ いい名前だね

黒子３ 俺はアカ

黒子４ 俺、アオ

黒子５ 私はキー

少女 何か名前だけカラフルだね

黒子３ みんな黒いのにな

少女 あの人は？

黒子４ え？

黒子３ おい、こっち来いよ

黒子４ ほら

黒子１ 俺はいいよ

黒子３ 何言ってるんだよ

黒子５ ちゃんと挨拶しなきゃ

黒子４ そうだよ

少女 あなたの名前は？

黒子１ クロ

黒子３ そのまんまだよな

黒子４ 真っ黒だもんな

黒子１ うるせえ

黒子５ みんな真っ黒じゃない

黒子３ 黒子だからな

少女 クロ、よろしく

黒子１ ああ、よろしく

 黒子２、登場。

黒子２ 俺の名前はシロだって言ったら、君には犬みたいだねって言われた。それから俺は犬になった。黒子なのに白くて、犬で、何か変な感じだったけど、君が喜ぶんだったらいいかなって思った。多分君は初めて会ったときからあいつのことが好きだったんだと思う。君の夢を叶えたかったから、俺は一生懸命だったんだよ

少女 ねえ、おばあさんの目はどうしてそんなに大きいの？

黒子４ それはお前のことがよく見えるようにさ

少女 おばあさんの耳はどうしてそんなに大きいの？

黒子４ それはお前の声がよく聞こえるようにさ

少女 おばあさんの口はどうしてそんなに大きいの？

黒子４ それはね、お前を食べるためさ

少女 きゃあー

 ちゅどーん。

黒子４ うぎゃあー

黒子１ 何だ、どうしたんだ

黒子５ 何？　何？

黒子４ 何か出たぞ

少女 ごめんなさい、倒しちゃった

黒子１ 何やってるんだよ

黒子５ あー、やっちゃった

黒子３ あれ？　俺の出番は？

黒子１ お前、もういらない

黒子３ 何それ？

少女 ごめんなさい

黒子４ あー、びっくりした

黒子３ 俺の出番は？

黒子２ あのとき、アリスは何だかよく分からないビームを出してオオカミをやっつけちゃった。アリスはいつだってとんでもないことをしでかして、みんなを驚かせてた

黒子５ リンゴはいらんかね？

少女 まあ、おいしそうなリンゴ

黒子５ ひとつどうだい

少女 ありがとう。おいしい

黒子５ あれ？

少女 どうしたの？

黒子５ 何ともないかい？

少女 うん、何ともないよ

黒子５ そうかい

少女 おいしいリンゴをありがとう

黒子５ いやいや、どういたしまして

黒子２ 毒リンゴを食べても気絶しなかったアリスには、さすがのキーちゃんも困ってたみたい。でも、そんなへんてこな夢の中で君と一緒にいることが、とっても楽しかったんだよ

少女 誕生日の前日はいつも不思議な夢を見る。私はおとぎ話の登場人物になって、不思議な冒険をするの。お姫様になって王子様と結婚したり、お菓子の家に住んだり、魔法のじゅうたんに乗って空を飛んだりすることもあった。私はいろんな夢を見た。夢の中には大好きな人がいた。決して叶わない夢だと知っていたけど、私はそれでもよかったんだよ。いつまでも夢を見ていたかったんだよ

 黒子３・４が紙吹雪をまく。

少女 雪が降ってて、私は一人で凍えている。誰もいなくなって、私は独りぼっち。寂しくて、暗くて、真っ白な世界。夢の中で私は願う。雪が桜の花になりますように。もう一度あの人に会えますように

 少女は紙吹雪に埋もれる。黒子達はいなくなる。

 黒子２、登場。

黒子２ アリス、アリス

少女 ん

黒子２ 起きて、アリス

少女 え？

黒子２ アリス

少女 あなた、誰？

黒子２ シロだよ

少女 シロ？

黒子２ 覚えてないの？

少女 覚えてない

黒子２ そんな

少女 夢を見てたみたい

黒子２ ここは夢の中だよ

少女 夢の中で夢を見てたの？

黒子２ うん

少女 変なの

黒子２ うん、変だね

少女 シロだったっけ？

黒子２ そうだよ

少女 犬みたい

黒子２ ああ、俺は犬だから

少女 犬？

黒子２ うん

少女 でも、喋ってるよ

黒子２ 喋るけど犬なんだ

少女 二本足で立ってるよ

黒子２ 足ってるけど犬なんだ

少女 変なの

黒子２ 本当に覚えてないの？

少女 何を？

黒子２ 俺のこと

少女 分からない

黒子２ クロは？

少女 クロって誰？

 間。

黒子２ 行こう

少女 行くって、どこへ？

黒子２ クロのところへ

少女 え？

黒子２ 思い出すんだ

少女 え？　でも

黒子２ さあ

少女 待って

黒子２ どうしたの？

少女 何か、怖い

黒子２ 怖がらなくていいよ

少女 ごめんなさい

黒子２ 何が？

少女 覚えてなくて

黒子２ 謝らなくていいよ

少女 大切なことを忘れてる気がするの

黒子２ うん

少女 でも、思い出せない

黒子２ 無理に思い出さないでいいよ

少女 朝、起きて、見た夢を思い出せない感じ

黒子２ 夢だからね

少女 でもね、素敵な夢だったよ

黒子２ 思い出せないのに？

少女 思い出せないのに

黒子２ そうだね

少女 クロってどんな人？

黒子２ 君にその帽子をくれた人だよ

少女 そうなんだ

黒子２ 君にとって、とても大切な人だよ

少女 そうだね

黒子２ 行く？

少女 うん、行く

黒子２ じゃあ、行こう

 少女・黒子２、退場。

【６】　鬼ヶ島

 少女・黒子２、登場。

少女 ここにクロがいるの？

黒子２ うん

少女 会ったら、思い出せるかな？

黒子２ 分かんない

少女 どうしよう

黒子２ 何とかなるよ

 黒子１、登場。

黒子１ 何しに来た？

黒子２ クロ

少女 この人がクロ？

黒子１ シロ、余計なことをするな

黒子２ 余計なことって何だよ

黒子１ もう夢は終わりなんだ

少女 あなたがクロね

黒子１ アリス

少女 こんにちは

黒子１ ふざけてるのか？

黒子２ アリスは覚えてないよ

黒子１ え？

黒子２ アリスはみんな忘れてる。クロのことも、俺のことも覚えてない

黒子１ どうして？

黒子２ 夢が終わるからだよ

少女 ねえ、クロって何だか悪者っぽく見えるんだけど

黒子２ そりゃそうだよ。クロは鬼ヶ島の鬼なんだから

少女 鬼？

黒子２ だからやっつけなきゃ

少女 私がやっつけるの？

黒子２ そうだよ、アリスは桃太郎だろ

少女 あ、だからシロは犬なんだね

黒子１ おい、何をするつもりだ

黒子２ 桃太郎だよ

黒子１ 今更そんなことしてどうなるんだ

黒子２ 今更じゃない。今からやるんだ

少女 行くよ

黒子１ うわ、ちょっと待てよ

 少女は黒子１に襲いかかる。

黒子１ 何するんだよ

少女 鬼を倒すんでしょ

黒子１ いいよ、倒さなくて

少女 倒すんだよ

黒子１ やめろよ

少女 シロ、捕まえて

黒子２ 分かった

 黒子２は黒子１を捕まえる。少女は黒子１をくすぐる。

黒子１ やめろ、くすぐるな。くすぐったい

少女 おもしろい

黒子１ おもしろがるな

少女 だっておもしろいよ。ね

黒子２ おもしろい

黒子１ やめろ

少女 どうだ、まいったか

黒子１ まいらねえよ

少女 じゃあもう一回

黒子１ 待て。やめろ

少女 嫌だ

黒子１ 何でくすぐるんだよ

少女 おもしろいから

黒子１ 鬼を倒すのにくすぐるっておかしいだろ

少女 おかしくないよ

黒子２ いや、おかしいよ

黒子１ やる気あるのか？

少女 じゃあやってくれるの？

黒子１ やらない

少女 シロ、何とかしてよ

黒子２ え？　俺？

黒子１ シロ、どうするんだ？

黒子２ どうしたらいい？

黒子１ 俺に聞くな

黒子２ アリス、どうしよう

少女 やっつけて

黒子２ え？

少女 クロをやっつけて

黒子２ 俺が？

少女 できないの？

黒子１ できないだろ

少女 できるよ

黒子１ こいつ一人で何ができる

少女 できるよ

黒子１ こんなの桃太郎じゃねえよ。他の仲間はどうした？

黒子２ 他の奴らは来ない

黒子１ 桃太郎にはもっと仲間がいるんだろ。犬とキリンとペンギンを仲間にして鬼を倒して王子様と結婚するんだろ

少女 そんなの桃太郎じゃないよ

黒子１ いいんだよ、そういう話で

黒子２ クロ

黒子１ お前一人じゃ何にもできねえんだろ

黒子２ じゃあクロはどうなんだよ

黒子１ 何？

黒子２ クロは何にもしないじゃないか。何でもできるって顔して、何にもしないじゃないか

黒子１ 何だよ、それ

黒子２ そうだよ、俺じゃ何にもできないよ。でも、アリスのためにできることはあるよ

黒子１ もう終わったんだ。何もできない

黒子２ できるさ

 黒子１と黒子２が向き合う。二人が交差し、黒子２が倒れる。

少女 シロ

黒子２ ごめん、アリス。負けちゃった

黒子１ とどめだ

 少女は黒子２の前に立つ。

黒子１ 何の真似だ

少女 こいつは私が倒す

黒子２ え？

黒子１ 何だと？

少女 シロをいじめる人は許さない

黒子１ いじめてるわけじゃない。物語として当たり前のことをしてるだけだ

少女 だったら私があなたを倒さなきゃね

黒子２ アリス

黒子１ 足が震えてるんじゃないか？

少女 そんなことないよ

黒子１ 強がるなよ

少女 これが私の夢なの？

黒子１ 何が？

少女 私達はやられちゃって終わりなの？

黒子１ そうだな

少女 私が望んだのはこんなのじゃなかった

黒子１ だったら俺を倒してみろよ

黒子２ アリス、やめろ

少女 あなたを倒したら、あなたはどうなるの？

黒子１ どうなるって？

少女 みんなで幸せになれないの？　桃太郎も鬼も犬もみんな一緒に幸せになれないの？

黒子１ そんな話がどこにあるんだよ

少女 そんな話にしてもいいと思わない？

黒子１ おかしいだろ、そんなの

少女 そうかな？

黒子１ そんな夢みたいなことあるわけないだろ

少女 夢だっていいじゃない

黒子２ アリス

少女 夢なんだからさ

黒子１ もう手遅れだ

少女 え？

黒子１ 犬がやられて、誰も助けてくれない。みんないなくなるんだ

少女 そんなの嫌

黒子１ 夢は終わりだよ

少女 みんないなくなるの？

黒子１ ああ

少女 あなたも？

黒子１ ああ

少女 誰か助けて

黒子３ 待てーい

 黒子３・４・５、登場。

黒子３ 黒子レッド

黒子４ 黒子ブルー

黒子５ 黒子イエロー

黒子３・４・５　黒子戦隊、目立ちたいんジャー

黒子１ お前ら

黒子２ みんな

少女 誰？

黒子３ 正義の味方だよ

少女 正義の味方？

黒子５ ええ

少女 助けにきてくれたの？

黒子４ そうだよ

少女 ありがとう

黒子５ いいよ

少女 私はみんなのこと知ってるの？

黒子４ どういうこと？

黒子２ アリスは、みんなのこと覚えてないんだ

黒子４ そうなの？

黒子５ そうだよ

黒子４ 何で？

黒子５ 夢から覚めるからだよ

黒子３ 何で忘れるんだよ

少女 ごめんなさい

黒子４ 思い出せないの？

少女 思い出せない

黒子４ 思い出してよ

黒子３ 思い出せないなら、もう一回やり直せばいいさ

少女 え？

黒子３ 俺はアカ

黒子４ 俺はアオ

黒子５ 私はキー

少女 アカとアオとキーちゃん

黒子５ そう

黒子１ おい

黒子３ そして俺は

黒子１ おい

黒子３ うるさいな。いい所なんだから邪魔するなよ

黒子１ 俺を会話に混ぜろ

黒子３ あいつはクロって言うんだ

少女 うん、さっき聞いた

黒子１ 今更何しに来た

黒子３ 目立ちに

黒子５ 私は別に目立ちたいわけじゃないんだけど

黒子３ バカ、このまま出番がなかったらどうするんだ

黒子１ 勝手なことばっかりしやがって

黒子３ 勝手なことしてるのはどっちだよ

黒子４ そうだそうだ

黒子５ クロ、どうするつもりなの？

黒子１ こんな夢はさっさと終わらせてやるんだ

黒子３ 騙されないぞ。お前、アリスと結婚するつもりだろ

少女 え？

黒子４ そうなの？

黒子３ そうだ。俺達邪魔者を片づけてアリスを連れ去ろうとしてるんだ

黒子１ 何でそんな話になるんだよ

少女 そうなの？

黒子１ 違う

黒子４ そんな勝手なこと、許さないぞ

黒子３ アリス、あいつを倒したら俺と結婚してくれないか？

少女 え？

黒子１ おい、何言ってるんだよ

少女 うん、いいよ

黒子２ え？

黒子３ よっしゃあ

黒子４ 行くぞ

黒子１ 馬鹿野郎どもが

 黒子３・４は黒子１と戦う。

黒子５ シロ、大丈夫？

黒子２ 何とか

少女 ごめんなさい

黒子５ 何が？

少女 私のせいでこんな風になっちゃって

黒子５ いいんだよ、好きでやってるんだから

黒子２ アリス、いいの？

少女 何が？

黒子２ アカと結婚って

少女 私ね、すごく嬉しいの

黒子２ 嬉しい？

少女 何だかよく分からないけど、嬉しいの

黒子２ うん

少女 シロ

黒子２ 何？

少女 私、がんばる

黒子２ がんばるって、何を？

 黒子１は黒子３・４を吹き飛ばす。

黒子３ うわあ

黒子４ やられた

黒子１ どうした、その程度か

黒子２ みんな

黒子３ あいつ強いな

黒子４ ごめん、もうダメ

黒子５ しっかりしてよ

黒子３ 面目ない

黒子１ もう諦めろ。俺達は消えるんだ

黒子３ 嫌だ

黒子１ 何だと？

黒子３ 消えるなんて嫌だ

黒子４ そうだ、俺達は消えたりしない

黒子１ わがまま言ってんじゃねえ

黒子３ わがまま言ったっていいだろ

黒子１ だったら何とかしてみろ

少女 じゃあ私が戦う

黒子達 え？

少女 私が戦うから

黒子３ 待てよ、危ないぞ

少女 平気。がんばる

黒子４ がんばるって

少女 鬼を倒した人が結婚できるんだよね

黒子５ うん

少女 私があなたを倒したら、私と結婚してくれる？

黒子達 え？

黒子１ いや、それは

黒子４ ちょっと待ってよ、そんなのアリ？

黒子３ 鬼と結婚するなんてメチャクチャだ

少女 いいじゃない、メチャクチャでも

黒子５ それもそうだね

少女 行くよ

黒子１ ちょっと待て

 少女は黒子１に飛びつく。

少女 行こう

黒子１ え？

少女 ほら

黒子１ え？　何で？

 少女は黒子１を連れ去る。

黒子４ 逃げた

黒子３ 追いかけろ

黒子２ どうなってるんだよ

黒子５ 待ってよ

 黒子達、退場。

【７】　夢の終わり

 少女・黒子１、登場。

黒子１ どうしたんだよ、一体

少女 ごめん、何か勢いで

黒子１ 何それ？

少女 みんなに悪いことしたかな

黒子１ それは別にいいと思うけど

少女 クロ

黒子１ 何？

少女 クロに言わなきゃいけないことがあるの

黒子１ うん

少女 でも、思い出せないの

黒子１ うん

少女 クロは私に言わなきゃいけないこと、あった？

黒子１ 俺はもう言ったよ

少女 私はそれも覚えてないんだね

黒子１ 思い出さなくていいよ

少女 いいの？

黒子１ 本当はよくない

少女 ほら

黒子１ でも仕方ないから

少女 嫌だよ。仕方ないなんて言わないで

黒子１ いつか忘れるから

少女 忘れたくなくても？

黒子１ そう

少女 私ね、怖かったの

黒子１ 何が？

少女 朝、起きると忘れてしまうから。夢が終わるのが怖かった

黒子１ でも、終わるんだよ

少女 うん、そうだね

 間。

少女 ねえ、もう一回言って

黒子１ 何を？

少女 私に言ってくれたこと

黒子１ ダメ

少女 何で？

黒子１ 恥ずかしいから

少女 ケチ

黒子１ ケチだよ

少女 もう会えないの？

黒子１ どうだろう？

少女 これで終わりなんだね

黒子１ アリスが夢を見るなら、きっとまた会えるよ

少女 うん

 黒子達、登場。

黒子２ アリス

少女 シロ

黒子３ 何で置いていくんだよ

少女 ごめん

黒子４ どうなってるの？　これ

黒子３ 俺の見せ場があるはずだったのに

黒子５ まだそんなこと言ってるの？

黒子４ 桃太郎が鬼ヶ島に行って、それからどうなった？

黒子２ もういいんだよ、それは

黒子４ いいの？

黒子５ めでたしめでたし

黒子２ めでたいのかな？

黒子３ まだ終わってないぞ

黒子４ え？　何するの？

黒子２ プレゼントだよ

黒子５ 決まってるでしょ

黒子１ 最後まで騒がしい奴らだ

少女 これで終わり？

黒子１ うん、終わり

少女 また会いにきていい？

黒子１ え？

少女 忘れたくないから

黒子１ ああ、待ってる

少女 うん

黒子１ アリス

少女 何？

黒子１ 誕生日おめでとう

 黒子達は紙吹雪をまく。

 終わり。

【参考】

「不思議の国のアリス」ルイス・キャロル

他に、日本の昔話や様々な童話を参考にしました。

また、題名「夢だっていいじゃない」は、川原泉さんの漫画「笑う大天使」短編の副題をお借りしました。

※１　「こちら葛飾区亀有公園前派出所」秋本治（漫画）

※２　「ゲゲゲの鬼太郎」水木しげる（漫画・アニメ）

※３　「とっとこハム太郎」河井リツ子（漫画・アニメ）

※４　「Ｅ．Ｔ．」スティーヴン・スピルバーグ（映画）

※５　「あしたのジョー」高森朝雄・ちばてつや（漫画）

※６　「ドラゴンボール」鳥山明（漫画）

※７　「それいけ！　アンパンマン」やなせたかし（アニメ）

※８　「愛は勝つ」ＫＡＮ（楽曲）

※９　「フランダースの犬」世界名作劇場（アニメ）

※10　「北斗の拳」武論尊・原哲夫（漫画）

※11　「ピーターパン」ディズニー（アニメ映画）

※12　「お菓子の城」竹田製菓（テーマパーク）